

「第2特集」会議所ってこんなトコ



商工会議所のルーツを知ろう

～会議所の歴史と役割とは～

現在、国内には514の商工会議所があり、それぞれの地域の為に活動しています。そもそも、皆さんが入会している「商工会議所」とはどのような組織なのでしょうか。今月は商工会議所の歴史と役割をお伝えしましょう。

発祥の地はフランス

商工会議所の歴史は、中世ヨーロッパまでさかのぼります。世界で最初の商工会議所(当時は商業会議所と呼ばれる)は、1599年フランスのマルセイユに誕生しました。地中海沿岸に位置するマルセイユは、当時貿易の一大拠点として栄えていました。しかし、貿易に伴う利害トラブルが多発し大きな問題となっていたことから、商人と市議会が話し合いを行う場として発足したのが始まりと言われています。



商工業会議所誕生ヒストリー

日本に商工業会議所が発足したのは政治的背景があったと言われています。時は明治。幕末の混乱期に諸外国と結んだ不平等条約が原因で日本は世界で弱い立場に置かれていました。そこで、当時の総理大臣伊藤博文は不平等条約の改正を申し出ました。



日本で罪を犯した外国人を日本の法律で裁けない。輸入品に自由に関税をかけられない。このような条約は、商人をはじめ世論が許さず、改正を申し上げる！

しかし、英公使パークスに代表される公使団は：
ヨロソ？
日本二八国会ナド世論ヲマトメル機関ハアリマセネ！
商人モ怒ツテル？
商人ガ集マリ協議スル商工業會議所モ日本ニハアリマセシテナリマセシ！



そこで、伊藤は大隈重信と相談して、「商法会議所」をつくることを考え、渋沢栄一、五代友厚ら実業家に協力を依頼し…

明治11(1878)年3月
日本初！

「東京商法会議所」が誕生！



初代会頭は、日本資本主義の父 渋沢栄一氏

士農工商という江戸時代の身分制度の名残から、当時は商人の身分が高くありませんでした。商人の地位向上のため、商人達が相談して商売を進められる場所として誕生したのが「商工業会議所」なのです。

明治11(1878)年、東京を皮切りに大阪、神戸にも会議所が発足。以降、全国各地に次々と会議所が設置されていきます。そして…

明治24(1891)年10月5日

東北初

「仙台商業会議所」が誕生！



初代会頭 早川智寛氏

仙台「山形間の鉄道建設を政府に請願する」など地域開発にまい進。商業会議所の基盤を固めつつ、経済界に近代化への目を開かせた。

大正11(1922)年6月

商業会議所連合会の常設の機構・事務局を設置。事実上の日本商工会議所が誕生！

「商工会議所」は

世界にどのくらいあるの？

世界120カ国の会議所が加盟する「世界商工会議所連合会(本部：パリ)」には、なんと約12,000もの会議所が所属しています！
もちろん仙台商工会議所もその中の一つです！
また、アジアの中には27カ国で形成する連合会があり、そこには、日本の代表として日本商工会議所が加盟しています。
その他にも「在外日本人商工会議所」という組織が世界各国にあります。

- 欧州地域(イタリヤ等) 16カ所
 - 北米地域(ニューヨーク等) 17カ所
 - 中南米地域(ブラジル等) 13カ所
 - アジア地域(シンガポール等) 28カ所
 - 大洋州地域(シドニー等) 7カ所
 - アフリカ地域(南アフリカ) 1カ所
- このように、皆さんが入会している商工会議所は日本だけでなく全世界に組織展開する世界的規模の団体なのです。

写真で振り返る仙台商工会議所123年のあゆみ

明治44(1911)年新伝馬町にあった仙台商業会議所。

当時は借家を事務所に使っていたため移転を繰り返していた。(写真①)

昭和初年の「仙台商工会議所報」。ほとんど全てが戦災で焼失しているが、一部東京商工会議所図書館に保存されている。(写真②)

もはや戦後ではない。と新時代の経済が誇らかに宣言された高度成長期。昭和34年には計算尺技能検定が、昭和49年には小売商(販売士)検定など、商工人の資質向上につながる検定がスタートした。(写真③)

仙台港背後地で昭和62(1987)年夏に開催された「未来の東北博覧会」。地方博覧会として空前の規模で行われた。会議所も事務局として参画(写真④)



仙台商工会議所の3つの活動

政策要望活動

地域を代表する総合経済団体として、経済問題・地域問題の解決に向け、国・自治体に対し要望・提言活動を行い解決の実現に努めます。

地域振興活動

魅力あるまちづくり、地域文化の振興に向けて商工業・観光・イベントのバックアップを行います。

経営支援活動

経営サポート・販路拡大支援・コスト削減など、50を超える経営支援メニューで会員企業の皆さんを多角的にサポートします。



仙台商工会議所は、今年の10月で123歳になります。

多くの会員企業の皆さまとともに、明治、大正、昭和、そして平成と激動の歴史を歩み続けてきました。企業のサポーターとして、そして時にはホームドクターとして、これまでにも、これからも、仙台の発展のために力を尽くします。また、東北のゲートウェイとして、遊休機械無償マッチング支援プロジェクトをはじめとした、地域の垣根を越えた事業を展開し、東北全体の復興のために走り続けます。